

# 電子カルテシステムの選び方

2016年6月1日

作成 株式会社MIS 代表取締役 清水裕

先生方からよくこんなことを聞かれます。

「電子カルテを導入するメリットは？」

そんなとき私は「使う方次第です。」と答えます

かつてソロバンが電卓になったように文章を鉛筆やペンで書くことも少なくなりました時代です。

若い先生方は、パソコンでオーダするのは当たり前で総合病院や大学病院では既にほとんど導入されています。

そのような時代だと考えれば、目的やメリットを考えても意味がないと言う結論です。もしもそんなことでお悩みであれば、導入は止めた方が良くもありません。

どんな電子カルテを選べば良いか？

.....明確な答えがあります。

**「直感的に見て気に入ったものが一番良い」**

.....と言うことは残念ですが100%ありません。

まず、電子カルテシステムはあくまでも仕事（患者さんの大事なデータ）で使用するのだと言うこと決して趣味で使うのではないと言うことをしっかりと自覚しておかないといけません。

その上で以下のチェックが必要です。

- 信頼できるメーカーか
- 厚労省のガイドラインに準拠しているか
- しっかりとしたサポート会社が近くにあるか
- 動作する環境は自院にマッチしているか
- 使いやすいか
- 安定しているか
- 機能強化をしてくれるか
- コスト

詳しく説明します。

### 1. 信頼できるメーカーか

電子カルテシステムのメーカーは全国に山ほどあります。

しかし、倒産や撤退したメーカーも山ほどあるのが現状です。

会社が大きいからと言って安心もできません。

収益が悪ければ撤退するのが世の常です。

### 2. 厚労省のガイドライン

厚生局が個別指導で指導されることが多いのが「医療情報システムの安全に関するガイドライン」に沿って電子カルテシステムを運用しているかです。特に電子カルテの三原則については細かい質問を受けることになります。

きちんと運用しているつもりでもシステム自体に機能を満たしていない場合もあります。

最近の事例でも某メーカーの電子カルテを利用中の複数の医療機関で改ざんで摘発された事例もあります。

改ざんできるような仕組みの電子カルテシステムは導入すべきではありません。

### 3. サポート

先生がパソコンに詳しく、時間的に余裕があればサポートなしでも導入稼働ですが、ほとんどの場合はメーカーやサポート会社に導入のサポートをお願いすることとなります。

その場合に懇切丁寧に操作の指導や導入時の立ち合いをしてくれる会社があれば安心です。

また、稼働後も何かトラブルがあった時にはすぐにかけてくれる会社が望ましいです。

### 4. 動作する環境は自院にマッチしているか

主に使用されるのが先生であれば、まずはMACなのか Windows なのかの選択があります

ただ、先生が使い慣れていても他のスタッフが慣れていない場合があるので十分慎重に決断しましょう。

### 5. 使いやすいか

実際にデモンストレーションを見るのは当然ですが、やはり使いやすい機能があるかどうかをきちんと確認しましょう。

可能であれば使用している医療機関に見学に行くのが良いかと思えます。

### 6. 安定しているか

なかなか確認できない項目ですのでできれば実際の導入ユーザに確認できれば間違いのないと思えます

### 7. 機能強化をしてくれるか

メーカーや販売会社に確認するしかないでしょうが、専用機メーカーは機能アップはあまりないようです。

## 8. コスト

見積の内容を見てもわからないので「総額」だけみて価格を比較されることが多いのですが他社の見積もりと比較するのであれば中身が重要です。

中身次第では数百万円も差が出てきます。

また、導入コストが安くても運用コストが高い場合もあります。

結局、同じ条件のシステムはないので比較は大変困難ですので予算的に可能かどうかで判断するしかないと考えます。

最後に

当社では、これまで30社以上の電子カルテメーカーを検証してきました。

上記のチェック項目をクリアして数社に絞り込んだのち、その中から当社でサポート可能なメーカーと販売契約をしています。

お客様に最適なシステムをご提案できることと思いますのでぜひお気軽にご相談ください。もちろん相談は無料です。

また、

当社では、厚労省の「医療情報システムの安全に関するガイドライン」に対応したマニュアル等も準備しています。

稼働後も内部監査などのお手伝いもいたしますので安心してご用命ください。